



的を目標けてダーツを投じる参加者

**会** 親睦  
と交流を  
目的に平  
成25年度  
洞爺湖町  
老連レク  
リエーシ  
ョン大会

(洞爺湖町老人クラブ連合会主催)が、3月8日、団体戦と個人戦合わせて104人が参加して、母と子の館で行われました。団体戦は、ダーツ大会で、個人戦は、レーザーゲッター、ポケネットなどの4種目で競い合いました。

結果は次のとおり。(敬称略)

団体/優勝 成香明大クラブB 準優勝 セブンクラブ3位 栄クラブA

個人/優勝 小杉徳芳(陸会) 準優勝 小野寺信雄(セブンクラブ) 3位 木村久義(寿会)

## ゲームで親睦と交流 老連レクリエーション大会

## 読み聞かせ、ゲーム、 アニメを楽しむ図書まつり

3月8日図書まつり(教育委員会主催)が、洞爺総合センター図書室で21人の児童らが参加して開かれました。

最初に、たんぼぼの会のみなさんが、絵本「とうふちゃん」と大型絵本「いつもいっしょに」「めつきらもつきらどおんどん」の3冊の読み聞かせを行い、引続き、新聞紙を使ったゲーム「首ずもう」「引っ張りずもう」などで、大いに盛り上がりました。

その後、和室に移動して、氷河期を生きる哺乳類をテーマにしたアメリカのアニメーション映画「アイス・エイ



楽しいゲームで遊ぶ子どもたち

ジ」のDVD上映会を行い、心温まる感動作に子どもらも真剣に見ていました。

## 町の特産品のホタテが学校給食に 虻田地区の小中学校4校で実施

町の特産品のホタテのおいしさを見童たちにも知ってもらうと、3月13日虻田地区の小中学校4校で、ホタテのグラタンが給食メニューとして登場しました。学校給食センターが、いぶり噴火湾漁協から、2年貝1200枚の無償提供を受け、ホタテを身近に感じてもらうと、子どもたちに大人気のグラタンにしました。

同センターでは、当日大きめのホタテが入ったホタテグラタンを、虻田小、中学校と洞爺湖温泉小、中学校合わせて650食分を作りました。



ホタテグラタンをおいしく食べる児童たち

子どもたちは、グラタンになったホタテを、おいしそうに頬張っていました。



エゾシカの調理方法を学ぶ皆さん

**農** 作物の  
被害防  
止に取  
組む  
町鳥獣  
被害防  
止対策  
協議会  
(会長・  
八木橋  
隆副町  
長)が、  
3月26

日研修会とエゾシカ肉の試食会を洞爺総合センターで開き、約30人が参加して、エゾシカの捕獲活動やその活用について学びました。

町内でエゾシカの捕獲や駆除活動を行っている有害鳥獣捕獲員の山本勲さんが、平成25年度のセンサーカメラによる調査捕獲や一斉捕獲の結果などの活動状況を報告。

研修会終了後、場所を移動して、ザ・ウインザーホテル洞爺の飯島 豪総料理長の指導で、家庭で食べられるエゾシカ肉料理として、ステーキ、すき焼き、カレーの3品を参加者が作りました。

## 鳥獣被害防止の研修会 エゾシカのおいしい調理方法を学ぶ

